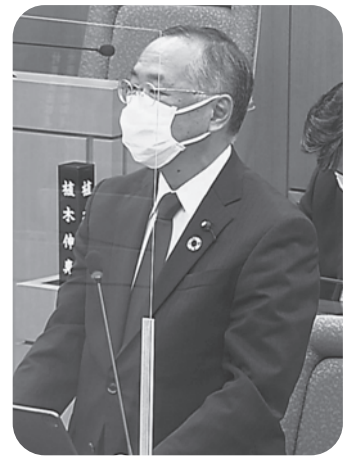


問 高齢者と弱者を守る 仕組みの強化

答 状況を注視し柔軟に対応する



新政とうかい
みかみ おさむ 議員
三上 修

問 民生委員や児童委員制度は長きにわたって住民を守り続けてきた日本独自の優れたシステムだが、近年は委員の成り手が少なく問題が顕在化している。

答 委員の選任は、その業務の内容から誰にでも委嘱できるものではない難しさがある。また、自治会長が委員探しをすることが難しい時代となってきた。委員不足解消のために各地域に福祉推進者を配置する水先案内人方式や委員の退任年齢の引き上げも考えられるが、村の対策方針は。

答 本村では広く啓発活動を行っているほか、民生委員経験者や民生委員顧問とも相談しながら対応策を検討中。今後は、地域福祉に対してより意識の高い団体等に対し、委員活動の紹介と個人情報取り扱いを含め業務内容を丁寧の説明する機会を作る。同時に地域住民にも同様の場を設け、委員の成り手となるような人材確保に引き続き努める。

なお、委員退任年齢の見直しは、現在の民生委員の意見を踏まえて慎重に検討する。



民生委員・児童委員は地域の身近な相談相手
※写真はイメージ

問 避難所 1人当たりの 広さ見直しは

答 県は避難先拡充と環境改善を検討



あべ こうし 議員
阿部 功志

問 水戸市や常陸太田市は、避難先での1人当たり居住面積を4㎡に見直す、本村は。

答 県として、周辺6県の避難先確保と避難所の環境改善に向けた検討を進めている。

問 「避難計画は実効性が不十分でもできたこととして後から直せばいい」という考えに対して村長の見解は。

答 実効性の検証には広域的な避難訓練も必要。実効性確認・向上に継続的に取り組む。

問 通学路の歩道の草刈りは回数増を

答 通学路は優先順位を検討する

問 豊岡から岡への道や石神外宿の6号から原電通りへの道は、草が伸びれば通行が不可能になる箇所があって危険。予算確保の上、草刈り回数を増やして。

答 除草は年2回実施だが、通学路は児童生徒の安全に関わるので、時期を見極めながら優先順位を検討する。

問 通学路である合同庁舎前交差点や舟石川小入り口交差点に防護杭の整備を。

答 今年度は舟石川小入り口交差点と岡交差点に設置の予定。



防護杭が設置される舟石川小入り口交差点